

## 令和7年度 事業計画

令和6年度も、当会の諸事業・行事に多大なご理解・ご協力を賜り、無事終了することができましたこと、会員・賛助会員・関係各位の皆様にご感謝申し上げます。

令和6年6月23日に開催されました第2回定時総会におきまして、役員のご改選が行われ、多田正人前会長の後任として、一般社団法人山梨県臨床検査技師会会長(代表理事)として会員の皆様にご選定をいただき、事務局移転・理事の変更など一新され、新たな船出を迎えました。

新型コロナウイルスは、感染症法上の位置づけが、2023年5月8日(月)に「5類」に移行いたしました。新型コロナのPCR検査や抗原定量・定性検査は、必要とされ、会員の皆様は大変なご苦勞をされていることと存じます。日臨技では、医師の働き方改革を進めるためタスク・シフト/シェアの推進に関する厚生労働大臣指定講習会が開催されています。講習会の基礎講義については日臨技ホームページからオンデマンドで受講のうえ、履修者は県内で開催する実技講習(最大60名を定員)を受講して修了となります(今まで約200名強程度が修了)。国家資格への業務追加であるため、既に資格を有しているすべての臨床検査技師の修了が望まれます。また、地域ニューリーダー育成研修会は、現状に即した育成研修のあり方を検討するため今年度は、実施されません。

梨臨技では、職能団体として、学会や専門研修会の開催はもちろんでありますが、公益事業にも力を入れていかなければなりません。その中の日臨技が全国展開している委託事業の「検査と健康展」では、高校生や保護者の皆様へ臨床検査技師の職種説明と検査体験を実施し、同時に「HIV/STI 予防啓発キャンペーン」も山梨県健康増進課との共催で実施しました。一般来場者企画では100名以上の県民が来場し盛会で好評でした。さらに、小瀬でVF甲府の最終戦に合わせて「HIV/STI 予防啓発キャンペーン」でオーロラビジョンにて啓発活動も行いました。令和7年度の「検査と健康展」は、小中高生の職業選択の一助になるよう新しい企画にて開催する予定です。さらなる公益事業の充実をいたします。

「リフレッシュ研修会」は、峡北地区の担当でボーリング大会を開催し、令和7年度は、郡内地区担当「学術講習会」は、峡東地区の担当で開催され、令和7年度は、峡南地区担当です。さらに「山梨臨床検査フォーラム」を2月に人材育成支部研修会と同時に開催しました。県医学検査学会は、甲府C地区の担当で現地開催にて開催され、令和7年度は、9年に一度の関甲信支部・首都圏支部医学検査学会が、梨臨技担当で、10月11日～12日にアピオ甲府タワー

館にて開催いたします。学会テーマは、『甲斐創造 ～未来への羅針盤～』で、開催いたします。梨臨技会員が、一つになり素晴らしい支部学会になるよう努めます。そのため、県医学検査学会は、本年度は、ごさいません。会誌の発刊は、経費削減とホームページ有効活用の面で、紙ベースではなく、いつでも閲覧できるホームページ掲載にいたします。

全国各地で災害が頻発しております。南海トラフ等で、どこに大災害がおきてもおかしくない状態です。梨臨技でもさらに災害対策も強化しなくてはなりません。当会は、全国の検査技師会で初めて県と「災害時における人材派遣の協定」を結び、避難所等における健康検診を行うための訓練も実施いたします。また、若手技師の会「若梨部」も新たな発想、学術研鑽や相乗効果を持ち、ニューリーダーを育成できるよう支援してまいります。今後も国際学会での発表や国際交流、国際支援などにも力を注いでまいります。また、各種認定の取得に対しても、応援できる体制を整えたいと思います。

今年度も日臨技及び、支部内や各県と連携を図り、更に行政とのつながりを強化し、地域医療及び公衆衛生の向上と医学検査の発展に努めます。

令和7年度の山梨県技師会は、以上のことを踏まえ、当会の目的を着実に推進すべく、下記の基本方針を軸に、公正で透明性の高い運営を目指します。

- 基本方針
- (1) 学術活動の推進
  - (2) 人材育成（国際活動支援含む）
  - (3) 組織の強化・活性化
  - (4) 情報網の整備
  - (5) 公益事業の推進と他関連団体との連携強化
  - (6) 県技師会主催事業の開催

## 1. 学術活動の推進

学術は、技師会活動の根幹を占めることから、学術部研究班活動を中心に、多くの会員が積極的に研修会に参加できるよう企画する。関甲信支部・首都圏支部医学検査学会の成功のため会員が一つになり取り組み、そのため山梨県医学検査学会は今年度開催しない。山梨臨床検査フォーラムを更に充実していく。日臨技が医療保険制度改革や医療提供体制の見直しや医師の働き方改革を実践するためタスクシフト・タスクシェアに関する研修会に取り組んでいく。また、関甲信支部・首都圏支部と連携をとりながら、更なる学術研修会の推進を図る。精度保証認証については、品質保証施設認証の取得施設の普及を図りたい。

## 2. 人材育成（国際活動支援含む）

就職から5年程度の会員を対象とした新人教育として公益事業への参加と研修会を実施し、日臨技及び公益活動への理解と、夜間・休日の緊急検査ポイントの知識向上を図る。更に、「若梨部」を将来の技師会や施設を担って立つような人材育成するため支援していく。学会抄録集がJ-STAGEに登録されたので、論文投稿にも協力していきたい。また、国際学会・国際交流・国際支援などへの活動に対しても積極的に支援していく。

## 3. 組織の強化・活性化

災害時、避難所等における健康検診を行うための訓練を実施し、災害対策の強化していく。地区理事を中心とした地区活動の強化・親睦を図り、技師会未加入技師の入会を図る。技師連盟への加入推進を図る。OB会『銀の輪』の普及と加入推進を図る。今後、更に会員の比率が増す女性会員も積極的な技師会活動への参入を推進する。

## 4. 情報網の整理

新型コロナウイルス感染拡大の教訓から、情報管理部・学術部と協同してオンラインでの情報ネットワークを構築し、学会、研修会や会議など実施できるよう強化していく。HPの個人情報の保護・セキュリティ強化に努め、広報部と協働し、HPへ会誌の掲載をし、更なる充実と迅速かつ的確な情報提供を推進する。

## 5. 公益事業の推進と他関連団体との連携強化

日臨技委託公益事業である「検査と健康展」の更なる充実、県健康増進課および関連団体と連携を図り「HIV/STI 予防啓発キャンペーン」「肝疾患啓発イベント」「献血キャンペーン」で県民の健康増進へ寄与する。主に、例年同様、下記各種行事・事業への共催・参加・協力を促進していく。

- 1) 山梨県医師会精度管理調査事業
- 2) 山梨県健康増進事業への参加・協力
- 3) 日臨技及び関甲信支部、首都圏支部との連携・協力
- 4) 医療関連団体、学会との連携・協力
- 5) 公益事業の推進・共催、公衆衛生向上への寄与
- 6) 災害時における県や他医療団体との連携と協働  
(感染症関係人材養成事業)

6. 県技師会主催・担当事業の開催

- 1) 関甲信支部・首都圏支部 医学検査学会
- 2) 学術講習会 担当；峡南地区
- 3) リフレッシュ研修会 担当；郡内地区
- 4) 人材育成研修会(新人教育研修会・地域ニューリーダー育成講習会等)
- 5) 山梨臨床検査フォーラム
- 6) 検査と健康展
- 7) HIV/STI 予防啓発キャンペーン
- 8) その他